

# 図書館だより 3月号

令和7年3月3日発行

王滝村教育委員会

TEL:48-2134

mail:kyoiku@vill.otaki.nagano.jp

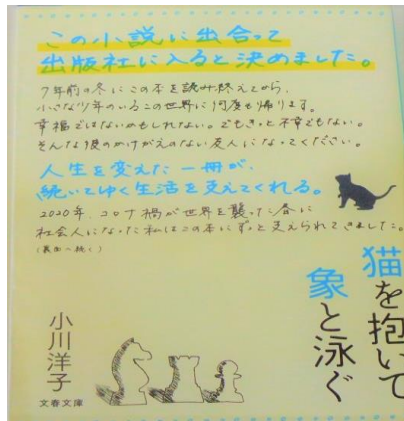
図書館を村民に開放しています。学校正面玄関やコミュニティルームから直接、

図書館にお入り下さい。開館日時：平日(開校日)午前8時～午後4時

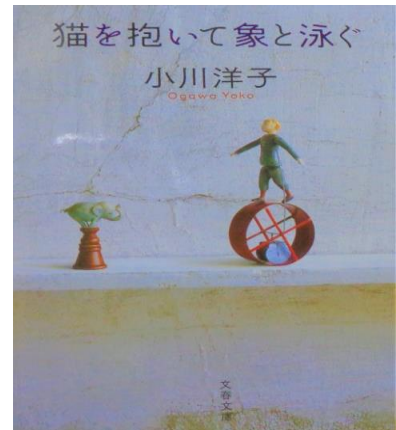
☆3月13日(木)13:30より読書会を開きます☆

途中の出入りも自由です。みなさん、お気軽にお立ち寄りください。

本屋の文庫本が並ぶ一角に、平積みされたこの小説を手にとったのは、カバー一面に書かれた、手書きの文章が気になったからでした。【この小説に出会って出版社に入ると決めました】



右書の『帯』が編集者の熱い想いで『第2の表紙』となったもの



『猫を抱いて象と泳ぐ』  
小川洋子(文春文庫)

『猫を抱いて象と泳ぐ』を語る

「人生を変えた一冊が、続いてゆく生活を支えてくれる」  
若い編集者が、手書きで、熱い想いを語っているのにほだされて、この本を買いました。  
家に帰って本を改めてみると、手書きの文章のカバーの下に、本来？の地味なカバーが二重にかかっていたのに気がつきました。  
見事な宣伝戦略！参りました！  
でも 若者の想いは本物です。私は小さなチェスプレイヤーにすっかり魅了されました。  
【幸福ではないのかもしれない。でもきつと不幸でもない】少年は、  
【強く美しく、哀しくも喜びに満ちた】世界にいます。  
そこを何度か訪ねますが、その度に新しい感動があり、登場人物達の優さに癒されます。人生の一冊といえるのかはわかりませんが、何度でも読みたい本の一つとなりました。  
この小説を読むのなら、文庫本がお勧めです。宣伝文カバーと 山崎努さんのちよっと渋くて深い解説が付いていますので是非併せて読んで下さい。

(K・K)



脇坂さんの新作 手芸作品

『キルトジャパンベストセレクション50センチ以内で作る ミニキルト歳時記』  
(日本ヴォーグ社)



新刊本のご案内です